

イザベルと妖精の騎士

- 1 美しいイザベルが部屋で縫物していると
きれいなヒナギク
妖精の騎士の吹く角笛が聞こえてきました
五月の最初の朝
- 2 「聞こえてくるあの角笛を手に入れて
きれいなヒナギク
あの妖精の騎士を わたしの胸に眠らせたい」
五月の最初の朝
- 3 イザベルが言い終わるか終わらぬうちに
きれいなヒナギク
妖精の騎士が窓辺に現れました
五月の最初の朝
- 4 「不思議なことがあるものです
きれいなヒナギク
あなたがわたしを呼ぶと 角笛が吹けません
五月の最初の朝
- 5 「むこうの緑の森へ行きましょう
きれいなヒナギク
歩けなければ 馬に乗せてあげましょう」
五月の最初の朝
- 6 騎士は馬に飛び乗って イザベルは別の馬に乗り
きれいなヒナギク
いっしょに 緑の森へ行きました
五月の最初の朝
- 7 「さあさあ降りろ イザベルよ
きれいなヒナギク
ここでおまえに死んでもらおう」
五月の最初の朝
- 8 「お情けを お情けをお与えください
きれいなヒナギク
もう一度 お父様とお母様に会わせてください」
五月の最初の朝
- 9 「ここは 七人の王の娘を殺したところ

きれいなヒナギク
おまえは八番目に殺されるのだ」
五月の最初の朝

10 「しばらく わたしの膝を枕にお休みなさい
きれいなヒナギク
わたしが死ぬのは しばらく休んでからにして」
五月の最初の朝

11 しきりに髪をなでられて 騎士は体を寄せました
きれいなヒナギク
小声で呪文をとなえられ 騎士はぐっすり夢の中
五月の最初の朝

12 刀帯^{ベルト}で 騎士をしつかり縛り上げ
きれいなヒナギク
短剣で 深く突き刺しました
五月の最初の朝

13 「もしも ここで七人の王の娘を殺したのなら
きれいなヒナギク
皆さんの夫として どうぞ ごゆっくり」
五月の最初の朝

(山中光義訳)